

機関誌

アクティブ福祉 vol.42 2020.8

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

目次

- P6 専門委員会リレー（災害対策検討委員会）
- P7 養護分科会トピックス
- P8 軽費分科会トピックス
- P9 センター分科会トピックス
- P10 職員研修会トピックス
- P12 新時代旋風

※委員会の開催状況により、一部企画を変更しております。



特集 P2

介護の質を向上させる人材育成



P4

東京ケアリーダーズが行く！
うわさの施設 **その8**
アクセス解析を活用し、
戦略的なホームページを構築



東京都高齢者福祉施設協議会 公式SNS 更新中！ いますぐチェック！



高齢協会長 西岡 修
@koureikyo



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会
@tokyokourei



東社協
東京都高齢者福祉施設協議会



今号では、前号に引き続きそのだ修光氏（全国老人福祉施設協議会 常任理事）、堀茂氏（高齢協 職員研修統括委員長、偕楽園ホーム 施設長）と大久保佳世氏（介護職員研修委員、はるびの郷 養護課長）にお話しいただきました。

テーマは人材育成です。介護業界で働く方は、どのようにしたら自身が成長できるかに高い関心を持っています。職員の資質は提供する介護の質に直結します。また、職員の研修体系が介護報酬に反映される仕組みも考える必要があると思います。

聞き手：高齢協 副会長兼情報・広報室長 水野敬生

※対談は7月3日にオンラインで実施されました。発言は当時の状況に基づきます。

研修への新型コロナウイルスの影響 —全職員にPCR検査を—

— コロナ禍により研修が開けないことは職員の質、介護の質の低下につながる可能性があります。この状況が続くとどのような問題が起こりますか？

大久保 介護職は人とのコミュニケーションが好き・得意な方が多くおり、人とのつながりの分断はストレスになりえます。また、人と話すことは自分を見つめ直すことや人生観の熟成につながりますが、その機会が減ってしまいます。

そのだ まず、現場の奮闘により日本の高齢者が守られていることに感謝します。

現場はコロナでストレスを抱えています。将来ワクチンができてでも恐らく従来の形には戻れません。施設間の職員交流はどうあるべきか考えないといけません、すぐに答えは出せるものではありません。

今すべきは全職員のPCR検査で、全国の介護現場の職員が検査を受けられる仕組みづくりを訴えています。これにより現場の皆さんにご安心いただけますし、参加者が全員陰性ならば研修の再開にもつながります。

しかし、検査体制の充実には時間がかかります。そのため、研修は当面オンラインでの代替となりますが、今は我慢の時です。



そのだ修光氏

目夜の努力の発表と表彰の場を

— 本年は全国老協の全国大会・研究大会、高齢協のアクティブ福祉＝高齢者福祉施設実践研究大会がともに中止・延期となってしまいました。

堀 アクティブ福祉は職員の課題への取り組みを東京全体で共有して介護の質の向上を目指そうと始めた研究大会です。仲間との発表の準備やテーマ研究は貴重な経験ですし、発表機会があることは日ごろの努力の励みになります。発表後には別施設から電話で質問があるなど、東京の介護の底上げに貢献できています。

大久保 学術的にエビデンスをもって介護を研究することで介護職の地位を向上することも狙いの一つです。他の施設の取り組みを聞いて、来年は自施設の活動も発表しようというサイクルもできます。表彰されることは目標になりますし、施設の連帯感の構築にもつながります。

そのだ 全国老協の研究大会でも東京都と同様に、参加者が一生懸命に競い合って技術を共有していました。とても重要な大会ですので、オンラインでのビデオ発表のような形をぜひ続けてほしいと思います。そうすれば地域や日程に制限されず、全国の皆様に見てもらえる機会にもなるでしょう。



大久保佳世氏

共通の評価でスキルの向上と待遇改善を

——人材の確保・定着のためにも、介護職員のキャリアパス導入促進事業が必要です。プロフェッショナルキャリア段位制度（以下段位制度）ができて久しいですが、社会的な評価を高めるためにこの制度を使う必要があると思います。

そのだ 現在は一年目も技術を持ったベテランも同じ給与体系で、キャリアアップを阻害しています。技術を持つ上司のようにになりたいと思える形が必要です。次の介護報酬改定では全体を底上げし、働く方の給与体系を改善する要望を出しています。技術を身に着ける、役職が上がることで給与につながる仕組みが必要です。

堀 現状段位制度の認定者は約6,500人、アセッサーは約25,000人で、浸透しているとは言えません。これは認定をアナログで行っていることが要因かもしれません。例えば段位をAIで判定する形ができれば、認定スピードも上がり広まるのではないのでしょうか。

また、施設の段位制度の認定者数を介護報酬で評価する制度があれば一気に広がっていくのではないかと思います。

大久保 私の施設では段位制度は取り入れておらず、現場職員の認知度は低い状況です。介護職は生活全体を見るため、多岐に渡る技術や知識を要します。またデータで測りづらい人間性や想いも重要です。同時に評価できる仕組みがあればと思います。また、段位を持つ職員が何をするか、ガイドラインが欲しいと思います。今は法人によって、優秀な介護職員に求められる仕事異なる状況です。

堀 施設、あるいは人によってやり方が違うことは、介護業界ではしばしばあるようです。以前現場から、教えられた知識・技術が標準的なものか自信が持てないという声があがりました。

段位制度の評価項目は知識と技術がセットとなっていて、実は人材育成のOJTツールとして優れています。国が定めたものですから、介護技術の「共通言語」になり自身のスキルに自信を持てます。

そのだ 段位制度も周知が足りない状況です。例えばヘルパーは総合的な技術が必要で、新人には難しいが、給与は時間給で抑えられているといった状況もあり、段位制度の評価を給与体系に一律ではめ込むことは難しくなっています。そのため、どのような政策が有効なのか、悩んでいる状況です。



堀氏

介護職の地位を確立するため、大学に介護福祉学科を

堀 イメージアップには国公立大学に介護福祉学科を作ることが良いのではないのでしょうか。国が介護は専門的な学問だと示すことは地位向上に直結します。大学で施設運営や地域マネジメントを学ぶことで、日本の介護の質はさらに向上するでしょう。

これから日本の介護を海外に輸出する際に、大学で介護を学んだ人が外国で指導することは輸入国の安心にもつながります。そうすれば介護を学びたい方も増えますし、教員や親からの介護専門学校への進学を反対されることも少なくなるでしょう。

そのだ 現在の介護専門学校は定員割れの傾向があり、改善しなければなりません。日本の介護はコロナ禍で世界から評価されています。国が重要視する地域包括ケアシステムの構築も、大学を卒業した介護職が地域と介護をつなげば、大きく発展するでしょう。卒業した介護職のキャリアが保証されることも必要です。

頂いた提言をぜひとも国に伝え、実現し、介護をより専門性を持ち魅力的な仕事にしていけるように努力していきます。



左から 堀氏、そのだ氏、大久保氏、水野氏

東京ケアリーダーズが行く！うわさの施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員(約1200施設・事業所)のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。毎回‘うわさ’の施設を東京ケアリーダーズが訪問し、お話を伺います。

その8

2019年「東京の介護ってすばらしい!グランプリ」 ホームページ部門 最優秀賞

社会福祉法人 芳洋会 ひのでホーム

アクセス解析を活用し、戦略的なホームページを構築

高齢者福祉施設での日常のさまざまな場面にスポットライトを当てながら、介護の魅力を発信する「東京の介護ってすばらしい!グランプリ」。

2019年度のホームページ部門では、大きな写真とコピーを効果的に使ってご利用者へのPR、明るくて楽しい活動報告などで審査員から高評価を得た特別養護老人ホームひのでホームが最優秀賞を獲得しました。

今回の取材では、ホームページ(以下HP)を担当される総務部総務課の関澤孝文さんにお話を伺いました。



HPのポイント

- ①ありのままの明るい日常の雰囲気伝える
- ②動線を工夫し、必要な情報に至るまでに伝えたい情報を盛り込む
- ③更新頻度を高くし、SNSも活用
- ④アクセス解析から次の戦略を立案

——現在のHPを制作したきっかけをお聞かせください。

現在のHPは理事長から「ただ見せるだけのものではなく、戦略ツールの一つとして活用したい」という意見から、2年前にリニューアルしました。

ご利用者、利用を検討されている方、就職・転職活動をしている方々の年代は幅広いですが、今では50代や60代の方もスマートフォンを使用している方が多く、パソコン・スマホ両対応のHPにしています。

——更新による具体的な効果はありましたか

閲覧数(以下PV)が更新前は1000件程度だったものが、現在は約3400件と順調に伸び続けています。

また、グランプリを受賞して、PVは伸びました。HPを通じた電話やメールも増えています。

——HP運営でのチーム連携についてお聞かせください。

運営は外部業者に委託しており、コンセプトイメージを伝えたくてレイアウトは依頼しています。また、毎月アクセス状況を分析して次の戦略を打ち合わせています。

雰囲気伝えるため、できるだけ多くの現場の介護職員の声を集めています。



左から 関澤氏、櫻田

—ホームページはとても見やすく、明るい雰囲気を感じます。コンセプトをお聞かせください。

日常の様子を伝えるために大きな写真を多数使用しています。

また、閲覧の動線を意識して、施設の雰囲気を感じてもらえるように構成しています。調べる方にとって最も大事な情報は施設の利用料金ですが、直接料金ページにアクセスできるとそこでサイト閲覧が終わってしまうため、別のコンテンツを経由するようにしています。目的のページにたどり着けないほど複雑にならないよう、調整しています。

—他に意識していることはありますか？

更新頻度を高くすることを意識しています。頻繁に笑顔の写真をお届けすることは、ご家族やご利用検討者の安心感を得ることにつながります。

—更新頻度については、SNSなどでの発信にはどのように取り組まれていますか？

HPは更新にタイムロスや手間がかかるので、その部分を現場がつくるSNSで補っています。SNSでは現場の職員の歓迎会やスポーツのなどプライベートの様子も、リテラシーを啓発したうえで、現場の職員に直接更新してもらっています。

—写真を選ぶ際に心掛けたことはありますか？

特別なイベントの写真も重要ですが、日常のご利用者の生活サポートこそが施設で最も大事なことで、普段のありのままの生活や雰囲気をお伝えすることを心がけています。

—私自身も記事を書きましたが、スタッフインタビューは多くの職員が乗っていますね。

このコンテンツは就職希望者向けのもので、多くの方の声を載せることで学生、転職者、若者、主婦など広いターゲットに届け共感してもらうことを意識しています。

職員に記事を依頼し、意図を変えないよう心掛けつつ、その中でも検索エンジンで上位に出やすくする(=検索エンジン対策)ようキーワードを盛り込むように作っています。

—同期の職員のインタビューを見るのは、具体的な仕事内容や介護に対する視点を学べてとても勉強になりました。

そういった副次的な効果もあってよかったです(笑)

—検索エンジン対策のほか、サイト運営の方針をお聞かせください。

ウェブ解析ではコンバージョンという概念があり、それを意識しています。当施設の場合は最終目標を電話での問い合わせ件数の増加としており、何件の問い合わせを得るためには問い合わせページの閲覧数が何件、そのためにはトップページの閲覧数が何件必要か、という戦略構築をコンサルタントと共に考えています。そのために時間や曜日ごとのアクセス数の解析を毎月行っています。

※コンバージョン：ウェブの最終的な目標成果。そのための中間目標となる指標を設定して目標を達成する。

—現在取り組んでいることをお聞かせください。

コロナウイルス禍でご家族の面会の制限をしている状況ですが、オンラインでの面会を始めています。また、採用活動も説明会や面接をオンラインで行っています。

新入職員の歓迎会ができませんでしたので、代わりに流行りのオンライン飲み会のセッティングもしていますが、人数のバランスなどは難しいですね(笑)

その他でも、HPで発信するだけでは足りない部分もあるため、他のツールの検討もしています。新しいものがどんどん出てくるので、日々勉強ですね。

—私自身、現場のことがこれほど発信されているとは知らず、また、多くの工夫があることを知れて勉強になりました。また、この施設で安心して働けるとも感じました。

介護の魅力を発信する上では、施設のHPはもとより、ケアリーダーズとしてもオンラインを活用した発信をしていけるよう頑張ります。本日はありがとうございました。



ひのでホーム外観

社会福祉法人 芳洋会 ひのでホーム

所在地：〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井3076 TEL:042-597-2021 FAX:042-597-1973

■取材 東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ

櫻田 康平(社会福祉法人芳洋会 ひのでホーム 介護職員)

■記録・編集 東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ

専門委員会リレートーク!

東京都高齢者福祉施設協議会内の専門委員会（※）に所属する委員から、委員会の活動内容や、ご自身の法人・施設・事業所でのホットな話題、新しい取り組み、他施設に教えた情報伝えるページです。

社会福祉法人 三宅島あじさいの会 特別養護老人ホームあじさいの里 施設長 染谷 一美
災害対策検討委員会 委員長

◎災害対策検討委員会として、初めてWEB打合せを行いました。

7月8日午前、当委員会は水害対策ハンドブック作成に関わった委員を中心にWEB（ZOOM）会議を行い、都内7地区（多摩市、東久留米市、羽村市、あきる野市、目黒区、三宅島、飯田橋）のメンバーで90分間でしたが、自身の濃い会議が出来ました。意見交換により整理された内容を以下に報告致します。

水害対策ハンドブックを活用した研修のWEB実施の検討について

3月に当委員会より発行しました、「高齢者福祉施設における水害対策ハンドブック～相次ぐ水害から利用者・職員を守るために～」を活用したWEB研修を9月に実施予定となります。ハンドブックでアドバイザーを務めていただいた、高橋 洋氏（（特非）災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード理事・副代表、（一社）福祉防災コミュニティ協会副理事長）に引き続き講師をご依頼し、昨年の台風19号で被災された施設の方にもご協力をお願いし、事例報告をいただく予定です。

ハンドブックは会員施設・事業所にお送りしているところですが、高齢協ホームページにもデータがありますので、台風シーズンを前に、ぜひ一読ください。

今後の委員会活動について

当委員会では、今後WEB（ZOOM）を使用した委員会を実施していくこととなりました。本格的な活動内容は9月実施予定の本委員会にて検討することとなりますが、今回の打ち合わせの際にあがった意見、報告のあった事項を下記にお知らせします。

- ・新型コロナウイルス感染症等状況共有システムの再構築
これまで、高齢協では「災害時情報共有システム」を作成し活用していたが、東社協の業種別部会全体で新たなシステム「施設部会災害時被害状況把握システム」が7月に立ち上がる関係で、新システムの訓練を8月第1週に実施していく予定。
- ・従来の「災害時情報共有システム」を新型コロナウイルス感染症等状況共有システム（仮称）とし再構築していく。
システムの項目内容については、新型コロナウイルス対策委員会を中心に意見集約していく。
- ・今年度、東社協の総務部企画担当が、行政の防災・福祉部局を対象とした「感染リスク下での水害に対する福祉避難所の備えと対応に関する調査」、ヒアリングを実施する予定。高齢協の災害対策検討委員会を代表して、中村正人委員（神明園）が出席する。
- ・人と防災未来センターより、コロナ感染を防ぐための避難所運営のチェックリスト等を行政に対して発表している。
この視点を研修や今後の活動の中に取り入れていけば良いのではないかと。

地域のいろいろな課題について

福祉避難所（二次避難所）や現状での課題について、情報・意見交換を行いました。下記にご紹介します。

- ・多くの区市町村では、特養等の福祉施設は二次避難所（福祉避難所）として指定されているが、特養が二次避難所に指定されておらず、二次避難所は公民館等、特養は三次避難所という特異な形式を取っている区市町村がある。
- ・コロナ禍で災害が発生した際に、福祉施設へ地域住民が避難することについて行政と意見交換したが、十分な対策がなく、担当者の避難所に対する理解や把握が十分でない点があり、危機感を感じている。
- ・コロナ禍により、施設間の情報共有が出来ていない地域が多い。
- ・二次避難所（福祉避難所）の協定及び、開設した際の指揮系統や運営はどかが担うかなどの実際について、状況把握や何らかの要望をしていく必要があるのではないかと。

※制度検討委員会、経営検討委員会、施設管理検討委員会、利用者支援検討委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会の6つの委員会の総称。各委員会には都内各地域の高齢者福祉施設より20名前後が委員として集まり、それぞれのテーマに沿った協議や研修会の開催等を行っています。

養護老人ホームでの 新型コロナウイルスの影響



● 社会福祉法人 恩賜財団東京都同胞援護会
養護老人ホーム万世敬老園 施設長

やまぐち しんじ
山口 慎二

▶ 新型コロナウイルスの影 ◀

2月より新型コロナウイルスが着実に忍び寄り、万世敬老園での対応が少しずつ始まりました。まずは園内での行事から。毎月の全体集会を館内放送に変更、住職にお出でいただいていた春の法要やクラブ活動は中止、職員は毎日の検温、公私の衛生管理、マスク着用、そして有事に備えBCP計画を、という最中に利用者様が発熱、PCR検査に。

結果的には陰性だったのですが、その間の焦燥と結果報告後の安堵は忘れ難いものでした。利用者様が肺炎治療後、元気に退院されたことは幸いでした。

▶ これまでの振り返り ◀

新型コロナウイルスは人々の関わりに大きな影響を及ぼすものです。日常的に園内のみならず社会との関わりを持つ利用者様。買い物、散髪、通院、親族や知人との外出、時には夜の街にも。自粛要請中は巷の罹患者の数に^{おの}慄きながら、利用者様に行動制限の協力を願う毎日でした。大きな混乱は無かったものの、いまだ収束は見えません。

新しい生活様式への理解を皆さんに受け入れていただき、3密を回避しながらも利用者様との密な関わりは不可欠です。

そもそも200名近い大集団での生活に加え、隔離スペースもない老朽施設。With CORONAへの道は暗中模索ですが、「この状況でも出来得ること」を利用者様とともに考えているところです。



ガウンテクニックの内部研修

至誠ホームスオミケアハウス

～新型コロナウイルス感染予防対策に取り組みながら～

● 社会福祉法人 至誠学舎立川

至誠ホームスオミケアハウス 園長

いのうえ ふじこ
井上 富士子

▶ コロナ禍でのチャレンジ ◀

至誠ホームスオミケアハウスは、「至誠ホーム」（法人の高齢事業部門の総称）が運営する軽費老人ホームです。定員50名、比較的自立度の高い高齢者が生活しており、「社会参加」、「文化活動」、「健康づくり」の3本柱を中心として共生の生活作りを推進してきました。

ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で生活が一変してしまいました。至誠ホームにおいても一丸となって感染予防対策に取り組んできております。その一環で当ケアハウスにおいても特徴である3本柱の活動を休止せざるをえなくなりました。自粛の生活が長引き、初めて経験する生活の変化で居住者のみならず職員のストレスも半端ではありません。心身の健康が保てるように日々支援を心がけております。

スオミハートの会開催

そのような中、ストレスの軽減を目的に3密を避けての新イベント「スオミハートの会」を開催しています（少人数参加となるため同イベントを数回実施）。緊急事態宣言解除後の6月から月1回の開催です。このハートとはコロナ禍において居住者に少しでも気持ちを穏やかに、笑顔になってほしいという願いが込められています。

第1回目はアフタヌーンティとケアハウスの秘蔵写真のスライドショー鑑賞でした。

そして、毎年春に開催されていたお茶会も中止となっていました。要望が多かったため7月は形を変えてお抹茶を楽しむ会として開催。感染予防のため各自で好きなお茶碗を持参していただき、それにお抹茶をたて飲んでいただきました。

今後も何をやるにしても感染予防をしながらということになりますが、コロナ禍でもできることを居住者と共に考え、楽しめることを積み重ねていきたいと思っております。

意識の変化

そして徐々にですが、居住者からは現状を受け入れて自ら「自粛、自衛しながらの新しい生活をしていこう」という前向きな姿勢もみられています。現在では、休止している活動の再開に向けて居住者と検討をはじめています。

スオミの3本柱もリニューアルして立つ日が近いことを確信しております。

七夕で「願いは一つ コロナよ退散して！」の短冊がありました。全ての人々の願いです。



スオミハートの会（お抹茶を楽しむ会）の様子



通所介護にできる事

●社会福祉法人 同愛記念病院財団
高齢者在宅サービスセンター 同愛記念ホーム 生活相談員

めぐりや えみこ
廻谷 恵美子

▶ 同愛デイサービスについて ◀

当施設は両国国技館の側にある 1 日 35 名定員のデイサービスです。

デイサービスの役割はたくさんありますが、どの事業所も同様、利用者様に安心して楽しくお過ごしいただけるよう、また、一緒に暮らす家族が安心して仕事等に行けるよう心がけています。

当デイサービスでは下町風情の家に住んでいらっしゃる方も多く、住宅改修が困難など自宅での入浴が満喫出来ない方、重度な介護が必要な方、どなたでもご利用の度に入浴していただく事が出来ます。

また、夕食の提供もしており、ご家族の帰りの遅い方、独居の方などが夕食サービスを利用されており、もちろん昼食も人気サービスのひとつです。デイサービスは日曜祝日も利用でき、個々の形態に合わせた支援を行なっています。

▶ 新型コロナウイルスの影響で… ◀

どこのデイサービス事業所でも感染予防を最重点にし、運営されていると思います。

利用を控えている方もいらっしゃいますが、毎日ご自宅から多くの方が集まり 1 日を過ごすデイサービスだからこそ、利用者様に安心して過ごしていただけるよう今後も感染予防に努めてまいります。

人材育成研修委員会主催 高齢者福祉施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会 介護・福祉にイノベーションを もたらす人になってほしい

●研修講師
(株) エイデル研究所 人材育成支援部 主幹 **にわ まさる**
丹羽 勝

▶ 強い現場作りを推進するリーダー育成がミッション ◀

当委員会は 2007 年から「高齢者福祉施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会」を開催し、22 回にわたり延べ 587 名の受講者を送り出してきました。

リーダーシップの発揮、問題解決プロセスの習得、部下の指導・育成等を学ぶ場として位置付け、今日では全国的にも珍しい 1 泊 2 日の合宿研修の形態で 12 年間にわたって延べ 200 事業所（130 法人）の会員の皆様に支持されてきました。



毎年熱心な討議・発表が繰り広げられています

当初 1 泊 2 日の合宿研修のみで始めたプログラムも、学んでほしい領域の広さとその深さをカバーしていく必要を感じた当委員会は、フォローアップ研修・グレードアップ研修という“新たな学びの機会”を増やし、2010 年からは「3 つの手厚いステップで構成された一連のプログラム（合計 4 日間）を提供し、強い現場作りを推進するリーダーを育成する」という目標とともに運営されています。またチームマネジメント研修への登竜門ともいえる“高齢者福祉施設における中堅職員のための能力開発研修”を 2013 年度からスタートさせ、毎年大勢の方が受講されています。

▶ 学びと実践を行き来しながら自信を積み重ねていく ◀

当委員会はさらに多くの高齢協会員の皆様にご参加いただけるように、職員を送り出しやすいポイント等を知る目的で研修参加施設長にヒアリングを行いました。ヒアリングでは「受講者の多くは、大いに動機づけられ、その後の事業所における業務で活躍している」ことなどを知り、本研修が「リーダーシップ・マネジメントの原則を学ぶ場」として、その効果・効用を実感されていることが分かりました。そして送り出す施設長が「『この学びを成果に結びつけるのは受講した自分である』という自覚が受講者に芽生えた」と考えていることが印象に残りました。



受講者と講師は一緒に考え、それを言葉にしていく作業に集中します。

▶ 「新時代の学びの形」を考えていく～これからの委員会活動～ ◀

施設長ヒアリングは2019年8月から始めていました。ご意見は、偶然とはいえ、このコロナ禍で当初の期待を超えてたいへん価値あるものになりました（今年度の開催は11月からスタートします）。コロナ禍を経験しながら当委員会は「これからの研修は大きくその形態と内容を変える必要があるだろう」と考えています。受講者一人ひとりに必要な内容でありたいとともに、学びという行為が有効かつ効率的なものである必要があると考えています。

来年度以降について、研修の開催時期、期間、内容などを早急に議論したいと考えています。

そして当委員会では「新時代の学びの形」を活発に議論しています。内容も精査し、形態については遠隔授業、通信教育、スクーリング等の組み合わせも含め、さまざまな視点から企画検討していきたいと考えています。



研修では「リーダーとは『チームの課題を明示し、自分で考え、判断し、行動する人』である」ことを繰り返し学んでいきます。

新時代旋風

新時代デザイン検討委員会再始動!

社会福祉法人 博愛会

ケアハウス・デイサービスセンター ハーモニー松葉 施設長

あさり 浅利
ようへい 洋平

新型コロナウイルスの影響により、長い間委員会を中止にしておりましたが、今年度初めての委員会を7月1日にWEB会議という形式で開催することができました。

第1回委員会では

コロナ禍での各施設での状況や対応の情報交換や「with コロナ時代における高齢者福祉のあり方について」をテーマに中心に意見を出し合いました。

コロナ禍で「誰のために何のためにしているのか再認識し仕事の魅力を見出した」という意見、ボランティアの方々が施設に来所しなくなって、その存在の大きさを痛感したという意見がでていくように、感染症対策のなかで大事なことに気づかされたことが多かったと思います。コロナ禍は施設運営に大きな影響を与えていますが、介護の在り方の見直しや介護・福祉の魅力をアピールする好機と捉えることができます。

ピンチをチャンスに変えるべく、新時代委員会では新しい発想や視点で福祉業界をけん引できるように今後も情報発信して参ります。



7/1委員会 (WEB会議) の様子

編集後記

今回の特集では新型コロナウイルスの影響下において介護人材の育成、研修による技能の発展について懇談された内容や各施設や委員会での対策を講じた取り組みが紹介されました。

ニュースやワイドショーでは新型コロナウイルス関連の話題が連日放送されている日常ですが、報道される情報で何を信じ対応するか、また行動や予防に自分自身で他者に説明できる根拠（エビデンス）があるかを問いつつ、感染対策は十分に必要ですが、ワクチンや特効薬が開発されるまでは長期戦になると思われるので、無駄にやりすぎて疲弊してはいけないとも思っています。

高齢者の生活を支えるのは簡単ではありません。家事・家政のスキル、行政・社会とつながるスキル、医療・介護のスキルを組み合わせ、日常生活の営みを継続する支援は簡単なようで難しく、誰にでもできるような単純なことではないと、新型コロナウイルスで行動制限がかかるなか改めて考えさせられました。

社会福祉法人 アゼリヤ会
あかね苑

施設長 大住 優

アクティブ福祉